

危 機 管 理 課

○ 防災関係

1 災害対策本部関係

伊勢市地域防災計画に基づき、災害の防止・軽減・応急対策を迅速に実施するため、災害対策本部を設置した。

(1) 本部設置回数 5回

設置年月日	警報・注意報名	備考
28. 4. 13～28. 4. 14	大雨警報、雷・波浪・洪水注意報	
28. 8. 28	大雨・洪水警報、雷・波浪注意報	
28. 9. 13	大雨・洪水警報、雷注意報	
28. 9. 20	大雨・洪水・暴風・波浪警報、雷・高潮注意報	台風16号
28. 9. 23	大雨警報、雷・洪水注意報	

(2) 被害状況（非住家を除く）

年 月 日		28. 9. 13	28. 9. 20
家 屋	全 壊	棟	棟
	大規模破損	—	—
	半 壊	—	—
	床上浸水	2	—
	床下浸水	1	—
	一部破損	—	—
	一部被害	—	1

2 自主防災隊補助事業

伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、次のとおり補助金及び助成金を交付した。

(1) 自主防災組織結成数 130隊

(2) 訓練助成金 96件 2,880,000円

(3) 防災補助金 119件 13,541,000円

ア 自治会 43件 4,462,000円

イ 自主防災組織 76件 9,079,000円

3 災害対策本部設置経費

本庁舎の改修に伴い平成29年度から災害対策業務を防災センター（第2司令塔）で行うため、機器等の整備を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
楠 部 町 地 内 ほか	三重県防災行政無線 (地上系・衛星系・有 線系) 移設業務委託	県防災行政無線 移設	円 9,428,400	28. 12. 21	29. 3. 31

危機管理課 及び 防 災 セ ン タ ー	国土交通省河川情報カ メラ映像受信システム 設定調整業務委託	映像受信システ ム設定調整	円 893,160	29. 1. 10	29. 3. 27
楠 部 町 地 内 ほか	三重県防災行政無線用 回線敷設業務委託	県防災行政無線 用回線敷設	112,320	29. 2. 13	29. 3. 16
危機管理課 及び 防 災 セ ン タ ー	コピー機移設業務委託	コピー機移設	46,440	29. 2. 13	29. 3. 30
計	4件	—	10,480,320	—	—

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
楠 部 町 地 内	アマチュア無線アンテナ 設置工事	1基	円 99,252	28. 8. 19	28. 9. 16
〃	伊勢市消防本部作戦会議 室音響用アッテネーター 設置工事	1か所	90,504	28. 12. 14	29. 1. 6
〃	ひかり電話番号追加工事	ボイスワープ用新 規電話番号取得	33,156	29. 1. 6	29. 1. 10
〃	防災センター情報通信配 線増設工事	情報通信配線増設 一式	1,293,840	29. 2. 15	29. 3. 15
計	4件	—	1,516,752	—	—

4 地域防災力向上支援事業

(1) 防災講習・防災訓練の実施

南海トラフ地震等の大規模地震の発生が危惧されている中、地域における防災の取組みを促進するため、自治会や自主防災組織及び小中学校等からの要請に応じ、防災講習や防災訓練を実施した。

ア 実施回数 139回

イ 参加人数 11,942名

ウ 実施内容 (ア) 緊急時の行動や家庭内での防災対策の説明
(イ) 園児、児童、生徒等への防災教育
(ウ) 三重県防災啓発車による地震体験
(エ) 災害時の避難行動訓練

(2) 地域防災マップ作成事業

住民が災害に強いまちづくりを行うことを目的として、防災について話し合い、顔の見える

関係を作り、課題の共有や改善を行うため、地域住民の力で行うタウンウォッチングの説明会を実施した。タウンウォッチングの結果、地域で避難経路や地域資源等の情報共有を行うとともに、それらの情報を記載した防災マップを作成した。

説明会 実施年月日 平成28年10月16日（日）、22日（土）、11月12日（土）、13日（日）
参加自治会 53自治会

作成実績 藤ヒルズ自治会、森区自治会、磯町自治会、中小俣自治区、
高向第一自治会南地区、高向第一自治会北地区、新高第二自治会、
高向第三自治会、新高第四自治会、高向第五自治会 計10自治会

(3) 高齢者等宅家具固定事業

過去に発生した大規模な災害では、住宅内の家具の転倒により多くの死傷者が発生した。その中でも、高齢者、障がい者などの方が被災されるケースが多数見受けられたため、これらの方を対象に家具固定事業を実施した。

ア 申込件数 27件

イ 申込期間 平成28年8月1日～平成29年1月31日

(4) 自主防災隊リーダー研修会の開催

地域の自主防災組織活動の中心的役割を担うリーダーの育成を図るため、研修会を防災センターで開催した。

ア 開催年月日 平成28年7月31日（日）

イ 参加人数 47隊、118名

ウ 研修内容 講演 「～伊勢市に起こり得る災害～長期避難での地域協力の重要性と役割」
講師 三重県 防災企画・地域支援課 防災技術指導員 岩本 久美 氏
そのほか、避難所運営ワークショップを行った。

5 避難対策事業

(1) 伊勢市業務継続マネジメント（BCM）推進支援業務委託

南海トラフ地震のような大規模災害発生時には、市役所機能が低下した中であっても職員は、膨大な災害対応業務を遂行しつつ一定範囲の通常業務についても継続することが求められることから、効果的に業務を実施するための伊勢市業務継続計画（BCP）を作成した。

また、BCP作成後は実行、改善していくことが最も重要であるため、PDCAサイクルに基づいた効果的な運用を図るよう業務継続マネジメント（BCM）体制の構築を行った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	伊勢市業務継続マネジメント（BCM）推進支援業務委託	BCP作成 BCM体制の構築	円 4,212,000	28. 7. 6	29. 3. 31

(2) BCMキックオフ研修会の実施

BCPの作成及びBCMの構築にあたり、その必要性を市役所全体で共有する必要があるため研修会を実施した。

ア 実施年月日 平成28年8月26日(金)

イ 参加人数 90名(市長、部長級、所属長)

ウ 講師 兵庫県立大学 紅谷准教授

エ 研修内容 BCPの必要性について講義、ワークショップ形式で研修会を実施

(3) 図上訓練の実施

プロジェクト型災害対策本部体制の習熟度を上げ、第2司令塔となる防災センターでの災害対策業務を経験することを目的に職員を対象とした図上訓練を実施した。

ア 実施年月日 平成29年1月18日(水)

イ 参加人数 162名(市長、副市長、部長級職員から一般職員まで)

ウ 訓練内容 第1部は、内陸直下型地震が勤務中に発生し市役所庁舎が使用不能となったため、防災センターで災害対策本部を設置し本部員会議を行った。第2部は、発災1週間後を想定し避難所の生活環境改善や被災者生活再建の対策を考え市長の模擬記者会見を実施した。

講評 三重大学 川口准教授

三重県防災対策部 防災企画・地域支援課 南専門員

(4) 津波避難訓練の実施

二見地区において、地域が主体となった津波避難訓練を実施した。

ア 実施年月日 平成28年11月5日(土)

イ 参加人数 1,626名

(5) 伊勢市女性の視点による防災対策推進委員会

平成27年度に取りまとめた「女性の視点による防災対策の提言」に基づき、女性の参画、避難所の運営、備蓄の推進の3つのテーマで防災対策の推進に取り組んだ。佐八地区、小俣地区で行われた防災訓練においては、女性参画のブースを設け女性視点の重要性について啓発を行った。

6 防災センター運営事業

防災センターは、市民の防災に関する知識の普及及び技術の向上並びに防災意識の高揚を図るとともに、災害時における災害応急対策の第2司令塔とするため、平成28年4月1日にオープンした。

(1) 管理、運営

市が直接管理し、使用料は無料で運営している。(年末年始8日間は休館)

(2) 利用者

体験学習室	研修室1	研修室2	研修室3	多目的ホール	小計	イベント等	合計
8,055人	3,226人	214人	236人	4,023人	15,754人	2,300人	18,054人

(3) イベント

ア 消防・防災フェスタ

オープンを記念して、消防本部と共催で「消防・防災フェスタ」を開催した。

(ア) 開催年月日 平成28年4月3日(日)

(イ) 来場者数 1,800人

(ウ) イベント内容 はしご車体験搭乗、放水体験、地震体験車、防火服着体験、煙避難体験、消火体験、防災シアター、浸水車両脱出体験、チビッコ・レスキュー体験、備蓄食料試食、災害用伝言ダイヤル体験、消防署探検ツアーなど

イ 夏休み防災図書館の開設

子どもを対象に夏休みの自由研究に利用できるよう特別企画として、消防・防災に関する本や冊子等を増やし、防災センター・消防署の見学や質問ができる「夏休み防災図書館」を開設した。

(ア) 開設期間 平成28年8月1日～14日

(イ) 利用者数 中学生1名、小学生21名、幼児8名 計30名

ウ 救急と災害を考える集い

伊勢地区医師会・伊勢保健所等と共催で「救急と災害を考える集い」を開催した。

(ア) 開催年月日 平成28年9月4日(日)

(イ) 来場者数 500人

(ウ) イベント内容 特別講演、応急手当体験、煙避難体験、初期消火体験、防災シアター、災害時の口腔ケア、血圧測定・健康相談、手洗いチェッカー、はしご車体験搭乗、地震体験車、防災物品展示、消防署探検ツアーなど

(4) 防災士養成講座の開催

防災に関する高度な専門的知識・技能を有する「防災士」を養成し、各地域においてその知識や技術の普及を図り、地域防災力を強化するため、防災士養成講座を開催した。

ア 開催年月日 平成29年2月18日(土)、19日(日)

イ 参加人数 25名

ウ 講座内容 株式会社防災士研修センターの実施する養成講座及び防災士資格取得試験の実施

7 備蓄物資整備事業

伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき非常用食料等を購入・更新し、物資及び資機材の整備を行った。

(1) 購入関係

種 類	品 目	H28購入	備蓄総量	備蓄目標
食 料	ビスケット	17,150食	46,659食	71,065食
〃	お粥（アルファ米 お粥）	2,400食	5,600食	11,521食
飲料水	ペットボトル(500ml)	15,432本	167,041本	555,345本
生活必需品	アルミシート(簡易毛布)	19,500枚	40,300枚	83,422枚
〃	紙おむつ(小)	21,576枚	43,036枚	66,532枚
〃	紙おむつ(大)	9,086枚	18,106枚	27,814枚
〃	使い捨て哺乳瓶	2,000本	4,070本	9,687本
避難生活施設 運営資機材	発電機	5台	118台	135台
〃	投光機（バルーンタイプ）	5基	8基	45基
〃	ブルーシート	400枚	4,066枚	5,225枚
〃	給水用タンク	10基	10基	45基
〃	避難所表示看板	140枚	140枚	140枚
トイレ関係	携帯トイレ（処理剤）	41,000個	195,784個	610,608個
〃	簡易トイレ	60台	215台	422台
〃	簡易トイレ用テント	60張	228張	422張

(2) 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊勢市内 防災倉庫 29か所	災害用毛布クリーニング 及び真空圧縮業務委託	6,180枚	円 5,292,000	28. 9.28	29. 3.14
二見町三津 地 内	二見防災倉庫草刈り業務 委託	除草業務一式	44,109	28.10.20	28.11. 7
計	2件	—	5,336,109	—	—

(3) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
浦口4丁目 地 内	徳川山自主防災隊防災 倉庫移設工事	倉庫移設一式	円 172,800	28. 8.17	28. 9.15
小俣町明野 地 内	明野第5・6防災倉庫 設置工事	倉庫設置一式	961,200	28.11.28	29. 1.26
久世戸町 地 内	修道小学校備蓄物資 保管用パーテーション 設置工事	パーテーション 設置一式	993,600	28.12. 5	29. 1.20

小俣町明野地内	北部明野防災倉庫塗装工事	塗装一式	円 70,200	29. 2. 16	29. 2. 27
計	4件	—	2,197,800	—	—

8 伊勢市防災会議の開催

災害対策基本法の規定に基づき、伊勢市地域防災計画の修正等を行うため、伊勢市防災会議を開催した。

- ア 開催年月日 平成29年3月24日（金）
- イ 内 容 議事 地域防災計画の修正について
水防計画の修正について
報告 平成28年度の事業成果について
平成29年度の取組、課題について
防災会議構成機関の災害時の対応
三重河川国道事務所、NTT西日本、鳥羽海上保安部

9 災害協定の締結

災害発生時に迅速な応急対策を行うため、民間事業所等と災害時の応援協定を締結した。

締結先	締結年月日	協定の名称
一般社団法人 三重県建築士会 伊勢支部	28. 4. 7	地震等災害時の応急対策活動の協力に関する協定
内宮エリア災害協力協議会	28. 5. 10	災害時における来訪者及び住民等への応急生活物資供給等の協力に関する協定
国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所長	28. 7. 25	災害時等における施設利用の協力に関する協定
三重交通株式会社 株式会社三交イン	28. 11. 24	災害時における緊急避難所としての使用に関する協定 災害時における災害時要配慮者に対する宿泊施設等の提供に関する協定
三重県ペストコントロール協会	29. 3. 15	大規模災害等における防疫業務に関する協力についての協定
日本郵便株式会社 伊勢郵便局 ほか市内22郵便局	29. 3. 29	災害発生時における伊勢市と伊勢市内郵便局の協力に関する協定（内容見直しに伴う再締結）

（注）平成28年度末の協定締結数 99件

10 災害用民間井戸登録の普及

災害時における生活用水の確保と市民の防災意識の向上を図るため、災害用井戸の登録を募集し、水質検査を実施した。また、協力井戸一覧をホームページに公表するとともに自治会役員等に周知した。

（1）件 数 227件（平成28年度56件増加）

(2) 募集期間 平成28年5月2日～平成28年11月30日

11 熊本地震にかかる被災地支援

被災地に対しアルファ化米10,000食を送るとともに、「給水活動」、「応急危険度判定」、「廃棄物収集運搬」、「被害認定調査」業務に職員16名を派遣した。また、御船町の被災者生活再建パンフレットを作成し被災地の支援を行った。

○ 防犯関係

1 伊勢市防犯推進協議会の活動

「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、事業計画を策定し、市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、より安全で安心できる市民生活の確保に努めた。

(1) 地域安全講習会の開催

平成28年4月15日から平成29年3月30日の間に、31回開催し、1,087名の受講者があった(対象は、自治会・老人会等)。

- 内 容
- ・防犯DVDによる啓発(振り込め詐欺、悪質商法など)
 - ・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員による管内の犯罪等の発生状況、事例に沿った犯罪の手口とその対策方法について
 - ・防犯アドバイザーによる地域の防犯対策について

(2) 街頭啓発活動の実施

平成28年4月11日から平成29年3月24日の間に、振り込め詐欺被害防止及び街頭犯罪被害防止啓発活動を55回実施した。

- 内 容
- ・毎月15日の特殊詐欺撲滅の日や毎月20日の犯罪抑止対策強化日に、伊勢警察署及び伊勢度会地区生活安全協会と合同で、市内金融機関、大型店舗及び駐輪場等で、チラシ、その他啓発用品等を配布し啓発に努めた。
 - ・ATMを使った振り込め詐欺被害を水際で防止するため、伊勢警察署、伊勢度会地区生活安全協会及び伊勢市自主防犯団体連絡会と合同で、市内3か所のATM設置場所(イオンタウン伊勢ララパーク店、ピアゴ上地店、和食さと伊勢店横)で声かけやチラシを配布し、詐欺被害防止に努めた。

(3) 防犯情報による啓発

伊勢警察署や市内の学校から寄せられた不審者情報や振り込め詐欺情報、犯罪発生情報の「防犯情報」を、防犯メール登録者に配信し、注意喚起と啓発に努めた。配信回数41回。

(4) 防犯モデル地区の指定

地域住民が防犯に対する理解と認識を深め、連帯意識を高めて、自主的な地域安全活動を推進できるようモデル地区を指定し、自主的な防犯活動の支援を行った。

- | | | | |
|------|----------------|------|---------------------------|
| 指定期間 | 平成27年度から平成28年度 | 指定地区 | 八日市場町会 |
| 指定期間 | 平成28年度から平成29年度 | 指定地区 | 津村町自治会
ライプリーシティ伊勢前山自治会 |

(5) 「伊勢市自主防犯団体連絡会」総会の開催

各自主防犯団体間の連携を強化し、さらなる資質の向上と防犯活動の活性化をさせるため、「伊勢市自主防犯団体連絡会」総会を開催した。

ア 開催年月日 平成28年4月28日(木)

イ 開催場所 伊勢市ハートプラザみその

(6) 「伊勢市自主防犯団体連絡会」講演会の開催

地域住民が防犯意識を高め、地域ぐるみで防犯活動に取り組むことで、より安全で安心なまちをめざすための講演会を開催した。

ア 開催年月日 平成28年8月22日(月)

イ 開催場所 伊勢市ハートプラザみその

第1部 演 題 自分たちがつくる「笑顔あふれるまち橋北」

講 師 特定非営利活動法人ニコニコ協和国理事長 高井 俊夫 氏

第2部 伊勢安土桃山文化村劇団員による「特殊詐欺の寸劇」

ウ 参加人数 約150名

(7) 地域安全展の開催

伊勢度会地区生活安全協会と共催で、伊勢まつり会場内に「地域安全展」のコーナーを設け、幼児から高齢者を対象に防犯・暴力団排除意識の高揚に努めた。

ア 開催年月日 平成28年10月9日(日)

イ 内 容 ・防犯啓発チラシ及び啓発物品の配布
・似顔絵コーナー
・防犯機器等の展示

(8) 全国地域安全運動における「安全安心まちづくり防犯研修会」の開催

伊勢警察署及び伊勢度会地区生活安全協会が主催、伊勢市及び伊勢市自主防犯団体連絡会が共催し、防犯研修会を開催した。

ア 開催年月日 平成28年10月11日(火)

イ 開催場所 伊勢市ハートプラザみその

・演 題 特殊詐欺被害防止対策「特殊詐欺声掛け実践塾」

講 師 伊勢警察署 生活安全課 生活安全係長 大久保 源之 氏

・演 題 防犯対策講話「管内情勢を踏まえた防犯対策等について」

講 師 伊勢警察署 生活安全課長 新村 幸治 氏

・演 題 テロ対策講話「住民と一体となったテロ対策について」

講 師 伊勢警察署 警備調査官(警備課長) 阿部 和彦 氏

ウ 参加人数 約200名

(9) 危険箇所等の情報提供及び対応

警察等からの不審者情報や振り込め詐欺情報を自主防犯団体や関係機関へ情報提供し、パト

ロール活動や注意喚起を要請した。

2 防犯灯に係る補助金及び助成金交付

自治会が実施する防犯灯の整備に対し、「伊勢市防犯灯整備事業補助金交付要綱」及び「伊勢市防犯灯助成金交付要綱」に基づき補助金及び助成金を交付することにより、地域の防犯環境の整備を支援した。

- ・防犯灯新設 114灯（旧伊勢78灯、旧二見5灯、旧小俣17灯、旧御薊14灯）
- ・防犯灯修繕 1,140灯（旧伊勢851灯、旧二見47灯、旧小俣122灯、旧御薊120灯）
- ・LED取替 1,666灯（旧伊勢1,186灯、旧二見115灯、旧小俣249灯、旧御薊116灯）
- ・防犯灯電気代 12,960灯（旧伊勢9,422灯、旧二見849灯、旧小俣1,856灯、旧御薊833灯）

3 防犯パトロールの実施

児童・生徒に対して登下校時に発生している不審者による声かけ事案等からの被害防止を図るため、防犯パトロールを実施した。

- 内 容 市内全小中学校周辺及び不審者出没地域を重点に、下校時にあわせて青色回転灯装備車でパトロールを行った。

○ 危機管理関係

伊勢志摩サミット対策関係

(1) 伊勢志摩サミットに向けた危機対策会議の設置について

伊勢志摩サミットに向けて、副市長を会長とする危機対策会議を設置した。

設置期間 平成28年4月28日～平成28年5月28日

(2) 伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議安全対策推進部会の開催

伊勢志摩サミットの円滑な実施を図るために設置した「伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議」に、安全対策を推進するため「安全対策推進部会」を組織した。

ア 開催年月日 平成28年4月20日（水）

イ 内 容 各課の伊勢志摩サミットに向けた取組状況について
危機対策会議の運用について 等

(3) 施設管理者等を対象としたテロ対策研修会の開催

伊勢警察署警備課長を講師として、昨今のテロ情勢を踏まえた自主警備体制の強化、テロを未然に防止するための施設警戒のポイント等の説明を出席者に行った。

ア 開催年月日 平成28年4月21日（木）

イ 開催場所 伊勢市防災センター4階 防災多目的ホール

ウ 対象者 市設置の公共施設管理者等

エ 出席者 117名

防 災 施 設 整 備 課

○ 避難所等整備事業

1 津波避難施設整備

津波の浸水が予測される避難困難地に津波避難施設関連の整備を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
大湊町 地内ほか	(注2) 津波避難施設 消防用設備保守 点検業務委託	消防用設備保守点検 一式	円 149,040	28. 6.16	29. 2. 2
二見町 今一色 地内	二見町今一色 津波避難施設 地質調査業務 委託	ボーリング工 1か所	2,860,920	28. 7.22	28. 9.29
東豊浜町 地内	東豊浜町津波 避難施設地質 調査業務委託	ボーリング工 1か所	3,132,000	28. 7.22	28. 9.30
二見町 西内 地	(注1)(注2) 二見町西津波 避難施設新築 工事監理業務 委託	監理業務 一式	2,408,400	28. 7.22	29. 3.24
東豊浜町 地内	(注2) 東豊浜町津波 避難施設新築 工事設計業務 委託	設計業務 一式	4,104,000	28. 8.26	29. 1.31
二見町 今一色 地内	(注2) 二見町今一色 津波避難施設 新築工事設計 業務委託	設計業務 一式	4,578,120	28. 8.26	29. 1.31
計	6件	—	17,232,480		

(注1) 平成27年度から繰越

(注2) 建築住宅課施行

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町 西内 地	(注1) 二見町西津波避難 施設用地造成工事	アスファルト舗装工 483 m ² 擁壁工 93m 側溝工 84m 管渠工 2m 集水柵工 4か所	円 25,267,680	27. 12. 11	28. 5. 24

磯町 地内	(注3) 磯町津波避難施設 (マウンド) 整備 工事	盛土工 一式 アスファルト舗装工 1,679 m ² 擁壁工 144m 側溝工 440m 集水柵工 19 か所	円 104,289,120 【契約額】 138,260,520 [平成27年度] 33,971,400 [平成28年度] 104,289,120	28. 1. 8	29. 3. 30
一色町 地内	(注2)(注4) 一色町津波避難 施設安全対策工事	安全対策工事 一式	178,200	28. 6. 17	28. 7. 15
二見町西 地内	(注2)(注4) 二見町西津波避難 施設新築工事	鉄筋コンクリート造3階建 1棟 延べ面積 1,319.21 m ²	388,800,000	28. 7. 13	29. 3. 15
磯町 地内	(注2)(注4) 磯町津波避難施設 (マウンド) 上屋 新築工事	鉄骨造平屋建 1棟 延べ面積 357.11 m ²	24,494,400	28. 10. 7	29. 3. 15
二見町西 地内	(注2) 二見町西津波避難 施設防火水槽設置 工事	防火水槽 (40 m ³) 1基	9,786,960	28. 12. 26	29. 3. 15
磯町 地内ほか	避難所看板設置 工事	避難所看板設置 3か所	1,080,000	29. 1. 16	29. 3. 8
二見町西 地内	(注2) 二見町西農業用水 仕切弁設置工事	仕切弁設置 1か所	756,000	29. 2. 6	29. 3. 15
〃	(注2) 二見町西津波避難 施設舗装工事	アスファルト舗装工 669 m ²	4,479,840	29. 2. 10	29. 3. 30
村松町 地内	(注2)(注4) 村松町津波避難 施設照明設置工事	階段用照明灯設置 12基	1,231,200	29. 2. 13	29. 3. 15
計	10件	—	560,363,400		

【10万円以下の工事】 有滝町地内 有滝町津波避難施設侵入対策工事ほか1件 196,473円

(注1) 平成27年度から一部繰越

(注2) 平成27年度から繰越

(注3) 平成27・28年度継続費

(注4) 建築住宅課施行

※合計は、各行の最上段を合算。

(3) 用地取得

場 所	事 業 名	筆 数	面 積	金 額
東豊浜町 地内	津波避難施設用地	筆 3	m ² 1,315.55	円 31,621,150